

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	【留】日本語基礎 ⅡC (0599)	
科目基礎情報							
科目番号	2M27		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	産業システム工学科機械・医工学コース		対象学年	2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	『科学技術基礎日本語』、教員配布のプリント						
担当教員	馬場 亜紀子, 塚本 直樹						
到達目標							
1. レポート作成に必要な基本表現を習得する。 2. 専門コースで使われる専門用語を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
基本表現	レポート作成に必要な基本表現を十分に理解し、使える。		レポート作成に必要な基本表現を理解し、使える。		レポート作成に必要な基本表現を理解していない。使えない。		
専門用語	専門コースで使われる専門用語を十分に理解し、使える。		専門コースで使われる専門用語を理解し、使える。		専門コースで使われる専門用語を理解していない。使えない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ○							
教育方法等							
概要	・レポート作成に必要な基本表現を学習する。 ・専門コースで使われる専門用語を学習する。						
授業の進め方・方法	・教科書と教員配布のプリントに基づき、授業を進める。本授業は90分授業を1回とし、秋学期週2回行う。授業内容を確認するための小テストを行う。到達度試験70%、小テスト・課題など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。試験答案は採点后返却し、達成度を伝達する。						
注意点	・授業を受けるだけでは、日本語は上手にならない。授業後に必ず復習して、日本語に親しむこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	比較	比較に関する表現を理解する。			
		2週	対比	対比に関する表現を理解する。			
		3週	類似	類似に関する表現を理解する。			
		4週	原因・理由	原因・理由に関する表現を理解する。			
		5週	根拠	根拠に関する表現を理解する。			
		6週	構成・列挙	構成・列挙に関する表現を理解する。			
		7週	提示	提示に関する表現を理解する。			
		8週	到達度試験と答案返却・フィードバック				
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	到達度試験	小テスト、課題				合計	
総合評価割合	70	30	0	0	0	100	
基礎的能力	70	30	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	